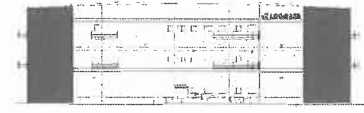


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)久御山町物流センター	階数	地上3F
建設地	京都府久世郡久御山町下津屋上ノ	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域、第4種高	平均居住人員	50人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年2月 予定	評価の実施日	2019年10月4日
敷地面積	12,934 m ²	作成者	中野 剛臣
建築面積	7,538 m ²	確認日	
延床面積	22,356 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE=1.1</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p> <p>3.0 1.5 BEE=1.0</p>	<p>標準計算</p> <ul style="list-style-type: none"> ①参照値: 100% ②建築物の取組み: 72% ③上記+②以外の: 72% ④上記+: 72% <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。</p>	<p>Q2 サービス性能: 5</p> <p>Q1 室内環境: 4</p> <p>Q3 室外環境(敷地内): 3</p> <p>LR1 エネルギー: 2</p> <p>LR2 資源・マテリアル: 1</p> <p>LR3 敷地外環境: 1</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質		
Q のスコア = 2.6		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア= 2.8</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア= 3.1</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア= 2.1</p>

LR 環境負荷低減性		
LR のスコア = 3.6		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア= 4.2</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア= 3.0</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア= 3.2</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>整合</p> <p>内装材はF☆☆☆☆建材をほぼ全面的に利用し、環境に配慮するとともに建物利用者への生活環境に配慮した</p>		<p>その他</p> <p>LED照明設備を採用している</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>居室部分においてF☆☆☆☆をほぼ全面的に使用している</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>階高、天井高ともに十分確保されており、執務スペースに対して1%以上のリフレッシュスペースを計画している</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>特に無し</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>BEIm=0.46</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>躯体材料以外におけるリサイクル材の使用を計画している</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>駐輪・駐車スペース、荷捌き車両のスペースを十分に確保している</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される